

平成 23 年度事業報告書

1 庶務に関する事項

(1) 理事会の開催

- 第 1 回 日時 平成 23 年 5 月 27 日(金)
場所 法曹会館 富士の間
東京都千代田区霞が関 1 - 1 - 1
議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成 22 年度事業報告及び決算を決定する件
- 第 2 回 日時 平成 23 年 5 月 27 日(金)
場所 法曹会館 富士の間
東京都千代田区霞が関 1 - 1 - 1
議題 次の議案を審議、決議しました。
・理事長及び専務理事を決定する件
・次回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等を決定する件
- 第 3 回 日時 平成 24 年 3 月 26 日(月)
場所 ホテル ルポール麹町 3 階アメジストの間
東京都千代田区平河町 2 - 4 - 3
議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成 24 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを決定する件
・次回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等を決定する件

(2) 評議員会の開催

- 第 1 回 日時 平成 23 年 5 月 27 日(金)
場所 法曹会館 富士の間
東京都千代田区霞が関 1 - 1 - 1
議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成 22 年度事業報告及び決算を決定する件
・理事を選任する件
・評議員 1 名を補欠選任する件

第2回 日時 平成24年3月26日(月)
場所 ホテル ルポール麹町 3階アメジストの間
東京都千代田区平河町2-4-3
議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成24年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを決定する件

2 事業活動

(1) はじめに

当協会は、1984年に発足して以来、視覚障害者や高齢者など日常生活にハンディを負った人々の食生活の改善に貢献するという理念のもと、食生活に関する情報の提供や各種資材の配布、バリアフリー化のための提案など様々な活動を展開してきました。

また、2005年に食育基本法が制定された後は、食育推進活動にも積極的に取り組んできました。食育については、自ら学習会を主催するといった活動のほか、事業に取り組む企業、団体などと連携した活動も幅広く展開してきました。

2009年10月には、いち早く新しい制度の公益財団法人への移行の認定を受け、今日、厳しい財政事情の中にあっても、事業の安定的な発展を図るべく努力しているところです。

平成23年度においては、まず、食生活に関する情報提供の事業として、創業以来継続している視覚障害者向けの月刊「声の食生活情報」の制作、配布を行うとともに、今年度のテーマとして「粉もの料理」を採りあげ、これを紹介する録音図書「コナモンをおいしく作ろう」を製作、配布しました。また、引き続きホームページによる料理のレシピの紹介を行ったほか、高齢者の健康長寿に役立てるため、牛乳料理教室を開催しました。

次に、食育の推進に関する事業としては、当協会が会員かつ事務局である「おとどけシステム食育推進協議会」において、高齢者に食事の「宅配給食」を実施している各地の団体と連携し、地域の高齢者が望ましい食生活の実践が行えるよう食育学習会を基本とした食育に関する実践活動を展開しました。また、それらの成果が広く利用されるよう、ホームページを開設し、学習会の講義内容を掲載するとともに、その他の食育に関する情報（食生活指針、食中毒予防のポイント等）を提供しました。

さらに、高齢者・障害者の食生活環境のバリアフリー化を推進するため、視覚障害者向けのレシピ集「季節の料理レシピ集」を作成、配布するとともに、高齢者・障害者を対象として、即席めん及び冷凍食品の利用に関する調査を実施しました。

(2) 事業の内容

1) 食生活に関する情報の提供

月刊「声の食生活情報」の発行

視覚障害者向けに食生活に関する知識と情報を録音した月刊「声の食生活情報」を制作し、希望に応じ、カセットテープ又はデージー(デジタル録音図書国際標準規格)対応のコンパクトディスク(CD)の形で、全国の点字図書館、盲学校、盲人援護施設、社会福祉協議会、視覚障害者個人などに提供しました。この制作、発送に当たっては、多くのボランティアの方々のお世話になっています。

録音図書「コナモンをおいしく作ろう」の作成

小麦粉を使った粉もの料理の名店のオーナーや調理人から種々の粉もの料理の紹介をしてもらうとともに調理のコツについても楽しく聴いて学べるデージー版CD「コナモンをおいしく作ろう」を作成し、全国の点字図書館、盲学校、盲人援護施設、社会福祉協議会、視覚障害者個人などに提供するとともに「すこやか食生活ネット」でも紹介しました。
〔当協会の賛助会員製粉企業制作協力〕

ホームページによる食生活情報の提供

毎日の食事の献立のヒントとなるレシピを当協会のホームページ「すこやか食生活ネット」で多数紹介しています。料理の写真を掲載し、作り方などを音声で聴くことができます。

このほか、ホームページでは、当協会が作成した資料をダウンロードできるようにしてあり、また、実施中の事業の紹介や食生活に関する様々な情報の提供を行っています。

「すこやか食生活ネット」のURL

<http://www.sukoyakanet.or.jp/>

料理教室の開催

牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良い料理の普及を図るため、高齢者向けの料理教室を首都圏各地において開催しました。

牛乳は、飲料としてだけでなく、料理の素材としても優れた食品であることの認識を広めるのに役立っています。

〔関東生乳販売農業協同組合連合会助成事業〕

2) 食育の推進

食育学習会の開催

当協会、(株)ニチレイフーズ、(株)グリーンハウス、全国老人給食協力会、(株)きわむ元気塾などで構成する「おとどけシステム食育推進協議会」を事業主体として、農林水産省の公募に応じ、「食育実践活動推進事業」に取り組みました。本事業は、全国老人給食協力会及びその開催地域の会員団体と連携し、中高年・高齢者を主たる対象として、健全な食生活を送るために必要な知識を普及し、実践に結びつく活動の促進を図ることを目的として実施しました。具体的には、全国4か所において「食育学習会」を開催し、給食活動を行っている各地の団体を通じて地域の高齢者が望ましい食生活の実践が行えるよう、様々な普及啓発活動を行いました。

さらに、本事業に関するホームページを開設し、事業の概要、取組内容、食育に関する情報（食生活指針、食中毒予防のポイント等）を掲載し、全国各地で高齢者へ食事を提供している団体やその活動に従事している方々が利活用できるようにするとともに、一般消費者の食生活改善にも役立ててもらおうとしています。

このほか、独自事業として(株)きわむ元気塾と連携し、都内のレストランでシニア世代向けの食育講座を開催しました。

おとどけシステム食育推進協議会のホームページのURL

<http://www.syoku-otodoke.net/>

「平成22年度食料・農業・農村白書のあらまし」音声紹介版の作成

農林水産省の公募に応じ、視覚障害者に平成22年度食料・農業・農村白書の内容を紹介し理解していただけるよう、白書のあらましを収録した音声テープ及びデジター版CDを作成し、盲学校、視覚障害者団体等に配布しました。

〔農林水産省公募委託事業〕

3) 障害者・高齢者の食生活環境のバリアフリー化の推進

視覚障害者向けのレシピ集「季節の料理レシピ集」の作成、配布

視覚障害者の方々が自立して食生活を楽しむことができるよう、使いやすい料理のレシピ集「季節の料理レシピ集」を作成し、全国の点字図書館、盲学校、盲人援護施設、社会福祉協議会、希望する視覚障害者などに配布しました。

このレシピ集は、12 か月各月の年中行事等とも関連させながら、旬の食材を用いた料理の材料・作り方について解説したもので、大活字・透明点字・音声コード一体型併用カード式で作成し、カード一枚ごとに、料理一品の料理名、材料、作り方、でき上がった料理の写真を掲載しています。
〔(財)日本宝くじ協会助成事業〕

食生活環境バリアフリー化の推進に関する調査

日常の調理にハンディを抱えがちな高齢者や障害者にとって、即席食品と冷凍食品は、便利な食品です。このような観点から、その正しい知識や使い方を身に付けてもらうとともに、使い勝手を良くするための要望を汲み上げるため、高齢者や障害者を対象とする調査を行いました。

この調査結果については、業界団体を通じて広く関係企業に周知を図り、今後の製品の改善に役立てていただくこととしています。

〔(社)日本即席食品工業協会助成事業、(社)日本冷凍食品協会助成事業〕